

自助

まずは自分の身は自分で守る

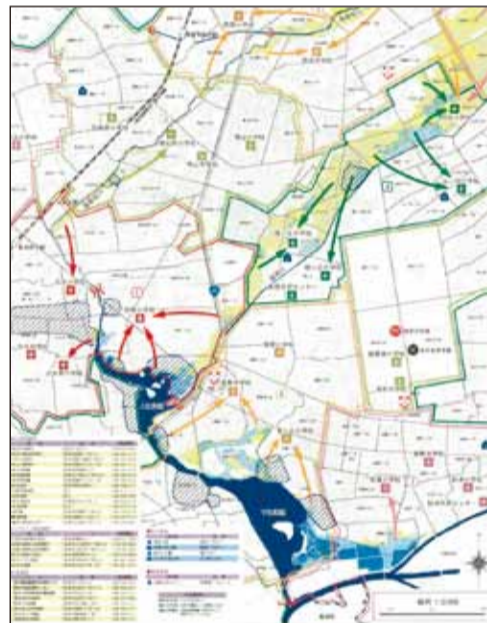
最低3日分の水・食料の備蓄を しましょう!

救助が届くまでの数日間(最低3日間)を自給自足できるよう準備しておきましょう。

日頃よく使う食品、日用品など多めの状態をキープ



いざという時の 避難経路を確認しましょう!



お住まいの地域のハザードマップ、防災マップなどで浸水地域などの危険箇所や避難経路を事前に確認しておきましょう!

ハザードマップなどに関するお問い合わせはお住まいの市町村の各担当課へ



「防災ハンドブック」で 家庭での防災対策を!



自然災害から身を守るため、家庭でできる日頃の備えなどについて、分かりやすくまとめた防災ハンドブックを作成しました。

ハンドブックは、県内全域の家庭に1冊ずつ配布したほか、**熊本県 防災ハンドブック** でダウンロードができます。

共助

地域の住民でお互いに助け合う

自主防災組織の活動を見直そう

熊本地震においても、地域で日頃から活動していた自主防災組織が、人命救助や避難誘導、円滑な避難所運営などに大きな力を発揮しました。



大江校区3・4町内自主防災クラブ(熊本市)
会長 田尻康博さん

自主防災組織は、楽しい活動から始めることが大事。「防災」と堅苦しく考えず「まちづくり」「仲間づくり」を優先させましょう。私たちも花見、夏まつり、餅つき大会などを通じて絆を深めています。



地域の見守りを目的に、町内をパトロール。おそろいのウィンドブレーカーが目立ち、地域の安心感にもつながります



会員は40人前後。定期的集まり、地域の危険箇所の情報共有、災害備蓄品の確認などを行っています

特集 防災

大規模災害に備えた 防災体制の強化の取り組み

県では、熊本地震や九州北部豪雨の経験をふまえ、「自助」、「共助」、「公助」の強化に取り組みます。

お問い合わせは
熊本県危機管理防災課 ☎096-333-2112
もしくは

地域防災リーダー養成等講座 「火の国ぼうさい塾」の取り組み

防災人材の育成・確保、自主防災活動の支援を行っています。



昨年度の実施風景

「火の国ぼうさい塾」の実施

気象情報や災害発生時の仕組みとその対策など防災に関する知識習得、熊本地震の体験談、地域の防災リーダーの講義や災害図上訓練の演習などがあります。

地域の防災活動に貢献したい方、防災活動を行っている自治体の方、ぜひご参加ください。詳細は県のホームページでご案内します。

公助

県・市町村の 防災体制の連携・強化

熊本県防災計画の改定

熊本地震の検証結果を踏まえ、車中泊への対応や受援計画の整備などの項目を盛り込みました。



4月19日に熊本県防災会議を開催

警察、消防、自衛隊、 海上保安部との 連携した救助

災害時には、警察、消防、自衛隊、海上保安部などの機関と情報共有しながら迅速な救助を行います。



被災者の救助や救急患者の搬送などに県防災消防ヘリコプター「ひばり」が活躍しています

住宅の耐震化支援について

住宅の地震に対する強さを耐震診断士が簡便な調査をもとに診断しています(一般診断)。また、診断後の耐震改修工事などに対する支援制度も、各市町村において準備を進めています。

- ◆対象住宅
戸建て木造住宅
(昭和56年5月末以前に着工
または熊本地震により罹災したもの)
- ◆対象者 住宅の所有者
- ◆費用 図面がある場合 5,500円
図面がない場合 19,000円
- ◆第3回の受付期間
平成29年7月14日(金)まで
9:00~16:00(土日を除く)



※熊本市在住の方は、別の支援制度がありますので、熊本市にお問い合わせください。

【お申し込み】(一財)熊本県建築住宅センター ☎096-385-0771
【お問い合わせ】熊本県建築課 ☎096-333-2535

「熊本県防災情報メール サービス」に登録を!

携帯電話もしくはパソコンのメールアドレスに、無料で最新の地震情報や大雨情報、避難勧告情報などが届きます。市町村を選ぶだけなのでぜひ登録を!

※通信料は別途必要です。
※携帯電話などで迷惑メール防止対策の設定をしている方は、登録する前に「bousaimail@anshin.pref.kumamoto.jp」からのメール受信が可能なように設定を行ってください。



登録方法

【登録用ホームページにアクセス】

みんなの
ケータイに
安心を
届けるモン!

